

# 特集1 CITY, CULTURE & SOCIETYの発刊にむけて

## SPECIAL1 Forthcoming Publication of CITY, CULTURE & SOCIETY

大阪市立大学都市研究プラザでは、2010年3月にエルゼビア社から発行される『CITY, CULTURE & SOCIETY』(CCS)の編集体制を以下のように整えつつある。

### ■CCSの目的・射程

『CITY, CULTURE & SOCIETY』(CCS)は、文化創造と社会的包摂を旗印とし、都市のガバナンスを中心に扱う学術ジャーナルであり、都市に関する先駆的な研究を促進し、都市のガバナンスとマネジメントを推進することを主な目的とする。CCSは様々な観点を取り入れた新たな学際的パラダイムを提案し、それらを都市が抱える課題に適用することを目指している。また、都市に住み、文化の担い手でもある「人」に焦点を置く。

とりわけ重要なトピックとして、都市計画、文化創造、社会的包摂および社会的排除、社会的持続可能性、文化テクノロジー、都市ガバナンス、持続可能な都市、創造都市、アートマネジメントなどが挙げられる。CCSはピア・レビュー(専門家による評価)による国際学術誌として、経済学、経営諸科学(経営・商学・会計)、プランニング、政治学、統計学、地理学、社会学、文化学、人口学、行政学を含む様々な専門分野からの寄稿も歓迎する。

CCSは理論と実務の架け橋的役割を担い、実務に埋め込まれ

た理論を掘り起こし、本誌の3領域である、都市・文化・社会の総合を目標としている。方法論としては、定性をベースに、定量との相互浸透を図ることになる。

### ■CCS編集局からの現況報告および今後の目標

CCSは2010年3月の創刊号に続いて、6月、9月、12月と年4回発行される予定である。出版元のオランダ・エルゼビア社からは、都市研究を専門に扱う学術誌として『Cities』が発行されており、CCSの発刊に先立ち、同誌から「都市研究プラザ特集号」が今年秋に出版される。

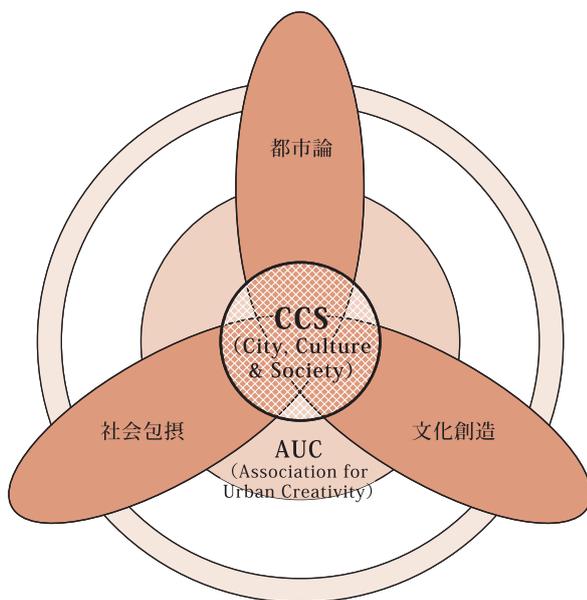
そこで、来年からの発刊に備え、現在、CCS編集局では以下の作業を進めている。

- ・アソシエイト・エディター、ボードメンバーの確定
- ・創刊第1号の執筆依頼
- ・今後本誌で扱う特集や内容についての検討

以下は、エルゼビア社やオックスフォード大学内の海外編集オフィスとの連携を図りながら、近々に決定していく事項である。

- ・誌面に記載されるAims & Scopeの内容
- ・表紙デザイン
- ・執筆要綱

このCCSは、大学の機関としてはアジア初となる学術ジャーナルとして独自性を打ち出し、世界で通用するトップジャーナルを目指すものである。いずれはアジアの若手研究者にも活躍の場を提供したいと考えている。同時に、都市研究プラザにおける研究チームの活動蓄積をもとに、新しいタイプの国際学会 Association for Urban Creativity(AUC)が創設される予定である。このAUCは、CCSを成長させるためには学会と実業界をカバーする都市研究交流組織が必須であるという趣旨から発案された、CCSの学術的基盤となるべき学会であり、グローバルな都市研究のコミュニティの創造を目指している。運営は都市研究プラザおよび海外サブセンター、海外のパートナー組織によって行われ、CCSを含むジャーナルや雑誌、データベースなどのサービスを提供する。また、都市研究プラザではAUC設立の出発点として2010年に国際学術シンポジウムの開催を企画している。こうした国際ネットワークの構築により、CCSの持続的な発展がサポートされるとともに、「アートを媒介にした包摂型都市」の新たなあり方を探り、都市・文化・社会的包摂の相互浸透の方法論を提示していく上でのグローバルな研究プ



CCS概念図

ラットフォームが形成されることになる。

また、CCSとして、今後UNESCOなど国際機関との連携強化も視野に入れている。都市研究プラザでは、UNESCOと連携してアジアにおける創造都市ネットワークを広げるべく、「世界創造都市フォーラム」をすでに3回開催しており、CCSではこうして構築された関係をさらに発展させ、創刊2年目のVol.2, No.1においてUNESCO特集号を編集するのを試みるとともに、たとえば名古屋、神戸、ポローニャ、モントリオール、サンタフェといったUNESCO創造都市を一都市ずつ各号で取り上げ、詳しく紹介することなども検討している。UNESCOとの関係の深いジャーナルの一例としては、1976年にカナダのバンクーバーで開催された国連人間居住会議（United Nations Conference on Human Settlements：通称ハビタットHABITAT）を契機に発刊された『*Habitat International*』が挙げられる。こうした事例を参考にしながら、UNESCOとの新たな連携関係を模索するつもりである。UNESCOやUNICEF、UNDPといった機関を擁する国連は、いわば都市・文化・社会というCCSの研究領域をすべて網羅する組織であり、CCSとしてこの3領域の結節点を論じる論文を掲載していく意味でもぜひとも関係を強化したいところである。

#### ■エルゼビア社の概要

CCSの出版母体となるエルゼビア社は、1880年、オランダのロッテルダムに創立された総合学術出版社である。1999年には、サイエンス・ダイレクトという電子ジャーナルのポータルサイトを他の出版社に先駆けて創始した。サイエンス・ダイレ



佐々木CCS編集長とエルゼビア社・エグゼクティブ発行人(地理・計画領域)Dr.クリス・プリンダル氏

クトは2009年現在、2,500の学術雑誌の900万以上の論文を搭載するフルテキスト・データベースとなっている。また、2004年にはスコープスの運用を開始した。スコープスは、5,000以上の出版社から発行される18,000以上の科学・技術・医学・社会科学・人文科学の学術ジャーナルを網羅する、世界最大級の書誌・引用文献データベースである。CCSは世界の学術出版界で重要な位置を占めるエルゼビア社との深い協力関係の中で編集作業を行うこととなる。

<< CCS編集局、河井・西田・堀口

*CITY, CULTURE & SOCIETY* (CCS) is an academic journal dealing mainly with urban governance under the banner of cultural creativity and social inclusion whose principal goals are to encourage groundbreaking research on cities and to promote urban governance and management. CCS aims to set forth new interdisciplinary paradigms from many different perspectives and adapt them to the issues that cities are facing. It also focuses on 'people', who are the inhabitants of cities and the carriers of culture. Especially important topics will include urban planning, cultural creativity, social inclusion and exclusion, social sustainability, cultural technology, urban governance, sustainable cities, creative cities, and arts management. As a peer-reviewed international academic journal, CCS welcomes submissions from many specialized fields including economics, the management sciences (management, business, and accounting), planning, political science, statistics, geography, sociology, cultural studies, demography, and policy studies. CCS will act as a bridge between theory and practice, uncovering the theory that lies buried within practice, and aims at a fusion of the three domains that are its concerns, cities, culture, and society. Methodologically, it will create a mutual interpenetration of the qualitative and the quantitative, based on the former.

Editor-in-Chief: Professor Masayuki Sasaki, Director, URP, Graduate School for Creative Cities

Managing Editor: Professor Hiroshi Okano, URP, Vice-Director, Graduate School of Business